

## 令和7年度春期 情報処理技術者試験

## システムアーキテクト 講評

## 【総評】

全体を通じて、緻密に考える力が求められる内容でした。午前Ⅱ試験では、基本的な知識を求める問題と最近の技術動向を捉えた問題が、適度な比率で出題されました。午後Ⅰ試験では、複雑な業務要件や制約条件を、丁寧に読み取って理解する力が求められる問題が出題されました。午後Ⅱ試験では、比較的論述しやすい汎用性の高いテーマが出題されましたが、それだけに経験や能力が論述に表れやすい試験でした。

## 【午前Ⅱ】

重点分野であるシステム開発技術は10問、セキュリティは4問、システム企画は3問が出題され、要求される技術レベルが強化されています。また、今回新たにユーザーインターフェースが出題分野となり、1問が出題されました。新作問題のうち目新しいテーマとして、Keycloak(問3)、ミューテーションテスト(問7)、サイクロマティック複雑度(問8)、コンテナ型仮想化におけるオーケストレーション(問21)がありました。それ以外は、過去問題の再出題や定番の用語の出題でした。

## 【午後Ⅰ】

前回から組込みシステム1問の出題がなくなり、今回も業務システムから3問の出題となりました。前回同様に各問の分量は各5~6ページあり、多めの分量が定着しています。問1はシステム新規開発、問2と問3は現行システムを置き換える開発で、システムライフサイクルの異なるフェーズからバランスよく出題されています。

## &lt;午後Ⅰ問題テーマ&gt;

- 問1 消耗品の集中購買化とそれに伴う業務システムの新規構築
- 問2 営業活動を支援するシステム
- 問3 不動産売買仲介システムの再構築

## 【午後Ⅱ】

午後Ⅰ試験と同様、前回から組込みシステムの出題がなくなり、今回も業務システムから2問の出題となりました。今回変わった点として、設問アが前回まで「800字以内で述べよ」とされていたのが、今回は「400字以上800字以内で述べよ」と下限文字数が明示されたことが挙げられます。実際の論述に大きく影響するものではありません。

問1は、データの分析や活用に関連するもので、過去に出題例のあまりないテーマですが、BIツールを使った経験があれば論述できるテーマです。問2はデータ移行で、システムの更改では必ず発生する作業であり、多くの受験者にとって論述しやすいテーマです。やや対象の狭いテーマと、オーソドックスなテーマで出題のバランスがとられています。

この講評の著作権はTAC(株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyrights by TAC Co.,Ltd.2025

<午後Ⅱ問題テーマ>

問1 複数の情報システムのデータを収集する必要がある指標の提供について

問2 現行システムと新システム間の差異を踏まえたデータ移行について

以上